

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスKID ACADEMY大久保校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日 ~ 2025年 11月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51人	(回答者数) 48人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 11日 ~ 2025年 11月 24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援の提供	専門職員などを配置し、専門的な知識やスキルを活かし、直接または指導員へ助言の元、個別、小集団のなかで「読む・書く・聞く」の向上と、意味理解・説明力を学ぶ専門性の高い時間を取り入れています。	定期的なフィードバックや関係機関との連携の面談を設け情報共有し、より成果が実感できるように努めています。
2	カリキュラムの多様性	5領域を軸に、一人ひとりの個性に応じた多様なカリキュラムを実施しています。放課後や長期休暇中には、公園での外遊びや季節の野外活動を通して体力・運動能力の向上を図るとともに、コミュニケーション力を育みます。また、クッキングや校外学習などの体験活動を取り入れ、知的好奇心を高めながら社会性を養います。さらに、言語聴覚士によるSST(ソーシャルスキルトレーニング)やカードゲーム・ボードゲーム等の活動を通して、感情のコントロール、協調性、集中力の向上を支援しています。	今後も、できるようになりたいことややってみたいことに向かって目標を立て実行し振り返りをする。小さなことから一歩ずつ子ども達の未来に向かってチャレンジする気持ちを応援します。
3	職員同士のコミュニケーション	情報共有が円滑に行われ、心理的安全性の高い職場環境づくりを大切にしています。日頃から挨拶や思いやりを心がけ、朝のミーティングや支援後の振り返りを通して情報共有を行っています。また、1on1面談を実施し、個々の課題や目標を共有することで信頼関係の構築に努めています。	今後も、研修などを通してどの職員もしっかりと児童の特性を理解し支援の質を深め、保護者様の悩みや不安に対する支援ができるように努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、ご兄弟の参加できるイベントや地域のイベントの開催ができていない。	保護者会を開催することはできているが、地域交流や兄弟も参加するイベントを開催する機会を設けることができていない。	今後は、ニーズに合わせて地域交流などのイベント日を設けていきたい。
2			
3			